

「アクセス」とは、情報に近づく道のこと。家庭科の先生方の日々の授業に役立つ資料を、折に触れお届けいたします。

生活の話題

としより

堀田 力

あなたは、残念ながら「としより」になる。今の世の中、そう簡単には死ねないから、最後はとしよりになるほかない。

としよりになると「寝たきり」になるかもしれない。したいこともできず、行きたいところにも行けない。

としよりになると、「認知症」になる。家族の顔もわからなくなり、突然わめき、徘徊し、便を壁に塗りつける。そうなるおそれが強いとおそれられている。

私は七三歳。としよりの仲間入りしてわかった。としよりは、そう簡単には寝たきりにはならない。寝たきりになるのは周りの者が寄ってたかって寝たきりにするからである。「自分のことは自分でやれ！」あなたが言われてきたように、としよりにも言ってやってほしい。自分のことは自分でしようと頑張っていると、寝たきりにならずにすむ。としよりは弱いから、何でもやってあげようなどと、なまじ親切にしてはいけない。

認知症のとしよりを、こわがってはいけない。認知症は、ただ物忘れがひどくなったというだけのものである。

だから、便と粘土との区別を忘れただけのことである。人間としての心は、あなたと同じように持っている。だから、やさしくしてあげれば、喜ぶ。自分でやれることをやらせたら、喜ぶ。

としよりは、特別な人ではない。あなたと同じ人である。死ぬまで、あなたは、あなたなのである。

それって、素晴らしいことでしょう。誰もがその人らしく生き、死んでいく。どんな状態になっても。

そういう思いでちょっと支えてあげれば、寝たきりにはならないし、便を壁に塗りつけたりもしないだろう。



ほった つとむ さわやか福祉財団理事長、弁護士。07年小山内美江子さんと「教育再生民間会議」を発足し、教育の根本から子どもがのびのびと育つための諸提言を行っている。近著『「人間力」の育て方』

特集

福祉社会の中の高齢者

CONTENTS

生活の話題  
としより  
堀田 力  
..... 1

家庭科再発見  
高齢期と住まい  
要介護高齢者の居住の不安定さ  
安岡美美子  
..... 2

実践レポート  
高齢者福祉の授業  
～高齢者に学び、現在の自分  
を見つめなおす授業の展開～  
菊川雅子  
..... 4

Information File  
データに見る日本の  
高齢化  
..... 6

メディア紹介  
「晩年のスタイル」  
「あの鷹巣町のその後」  
..... 7

# 高齢期と住まい

## 要介護高齢者の居住の不安定さ

安岡 芙美子



やすおかふみこ  
十文字学園女子大学准教授  
専門は老人福祉論  
主な著書(共著)・論文  
「2005年日本の福祉 論点と課題」大月書店  
「新鮮・高齢者福祉論」みらい  
『痴呆性高齢者のグループホームの社会的機能と位置づけについて』

### はじめに

我が国では持ち家政策のもと、家を持つことがサラリーマンの一生の仕事となっている。しかし家を持たば人生安泰かというそうではない。高齢期になるとせつかく苦勞して手に入れた我が家、なじんだ地域に住み続けることが難しくなるのである。高齢期を迎える人は多くなり、高齢期は大層長くなっている。この場合60歳代や70歳代の人たちは大した問題ではない。70歳代後半から始まり、80歳代、90歳代の後期高齢者ともなると要介護状態に陥る人は格段に多くなる。問題はそこからである。バリアフリーというレベルではなく、居住できる場所自体を見つけることが困難になるのである。人生の最晩年に居所を求めて流浪しなければならないとは、なんと酷いことであろう。

### 要介護高齢者の居住の実態

国民の生活への悩みで大きいものは老後の生活設計であり、健康問題である。自分が介護を要する状態になった時どうするかは、中年過ぎの人の脳裏に一度は浮かぶ問題であろう。内閣府の「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」(平成13年)によると、虚弱化した時に望む居住形態として一番多いのは現在の住宅にそのまま住みたい、次いで現在の住宅を改造し住みやすくするで、両者を合わせると自宅に住みたいが57.7%で半数を超している。ちなみに公立、民間を含め施設入居の希望は14.6%であった。実態はどうだろうか。「2015年の高齢者介護」という報告書がある。高齢者福祉分野では1989年以来ゴールドプラン、新ゴールドプラン、ゴールドプラン21などによってサービスが整備されてきたが、「2015年の高齢者介護」はこれらに次ぐ新たなプランという意味合いを持ったものである。この中で、現在の高齢者介護の現状について次のように述べられている。在宅での介護を目的としている介護保険制度の下でも、介護サービスは在宅生活を支えるまでには到っておらず、特別養護老人ホーム入所申込者が急増している。重度の要介護者が在宅での生活を送ることができているのは半数以下であ

り、施設サービス利用が半数を超えている。また最後を迎える場所も8割近くが医療機関で死亡する。要介護高齢者の半数に認知症の影響がみられるなどである。実態は住み慣れた我が家に住み続けることの難しさを浮き彫りにしている。

問題はそれだけではない。現在の施設体系の中で要介護高齢者がほぼ最終まで長期に住み続けられるのは特別養護老人ホームだけなのであるが、現在全国での設置数は約36万床であり、それに対して、同数以上の待機者が待っているというように圧倒的に不足しており、入所まで2~3年の待機が必要である。付言すると、特別養護老人ホームの空きは利用者の死亡による。

従って、病気や何らかのアクシデントで介護が必要になり、在宅介護が無理な場合は特別養護老人ホームに入所できるまで、いろいろな施設を転々とするようになる。地域による違いもあると思うが東京の例を挙げる。東京都社会福祉協議会の高齢者施設福祉部会の調査によると、特別養護老人ホーム入所まで過ごした場所は病院、老人保健施設、有料老人ホーム、グループホームなど施設が7割近くで、自宅は3割少しである。この中で老人保健施設の利用は平均2箇所、一番多い人は12箇所を利用している。結局特別養護老人ホームが足りず、すぐ入所できないために、短期間の利用しかできない病院や自宅と老人保健施設、あるいは複数の老人保健施設間で行ったり来たりを繰り返しながら過ごしていることが分かる。このように多くの人の希望に反して特に重介護が必要になる最晩年には自宅では住み切れず、安住の場所を求めて施設や病院を転々とするといった、不安定な居住状態をとることが多いのである。

### 新しい介護サービス体系について

このような実態を踏まえ、「2015年の高齢者介護」では新しい介護サービス体系を提唱している。

それによると、まず最後まで在宅で暮らせることを目指し、在宅で365日24時間のケアを提供するために小規模・多機能サービス拠点を作っていく、それと

もに、従来の施設ではなく、それといって自宅でもない、介護サービス供給体制が用意された「新しい住まい」を用意し、住み替えを進めていくとしている。この住み替えには「早めの住み替え」と「要介護になってからの住み替え」があり、要介護になってからの住み替えとして想定されているのは、現在の介護保険制度では認知症のグループホームや特定施設である。特定施設の対象は介護付き有料老人ホームやケアハウスであり、いずれも介護については介護保険制度より保険給付がつくものの、居住については自己負担であり費用はかなり高額に及ぶものである。

ここにおいて居住とケアを分離しそれぞれを手当てる考え方が採用されている。この考え方をとるには必要な条件がある。まず居住場所であるが、住いに相応しい質を保ち、費用を含め一般国民の手が届くものであること、そして重度になっても過ごせるだけのケアが供給されることである。しかし現状では特定施設の多くは規制緩和の下で民間企業に委ねられ営利追求が目的の一大産業となっており、福祉の理念はないに等しい。また入所できたとしても、ケア基準は特別養護老人ホームには及ばず、重介護に対処しきれない。このように「新しい住まい」にも課題は大きい。

### デンマークにおける高齢者居住とケアについて

デンマークにおいても以前は要介護高齢者のケアは施設中心であり、施設を作っても作っても不足し病院への社会的入院が多く、今の我が国と同じような状況だった。この解決としてとられたのが、施設凍結と「居住とケアの分離」だった。つまり居住とケアがパッケージされているのではなく、どこに住んでいてもニーズに応じてケアが受けられるやり方である。近年では、在宅にこだわって住めなくなるより、早めに虚弱化しても最期まで住める住宅への住み替えが唱えられている。この前提として我が国と大きく違っているのが、戦前から公共住宅整備に力をいれてきた住宅政策のポテンシャルと24時間ケアの整備である。住宅に関しては、全住宅の約2割が公営住宅でありデンマーク人の

5人に1人は公営住宅に住んでいるという充実ぶりである。ちなみに日本では20人に1人弱である。我が国と決定的に違うのは、デンマークでは住宅は社会保障の一環である。高齢者住宅、グループホーム、プライエム(介護型住宅)なども公営住宅法による住宅である。これら的高齢者住宅を含めて公営住宅法による住宅はコムーネ(市)の社会福祉事務所が取り扱っている。

24時間ケアについては、ほとんどすべてのコムーネで実施されている。また日本でよく問題となる医療と福祉の連携は、デンマークではケアの従事者の養成教育から職務の体制まで一貫した体系と連携によって行なわれており、普通のことなのである。

### おわりに

我が国では要介護高齢者になると居住が不安定になる。今後の対策として我が国においても居住とケアを分けて、ケアハウスや特定施設などをはじめとする、「新しい住まい」を拡大しそれに介護保険制度でケアをつけていく方向にある。これはデンマークなど先進国の例をみると、形態だけは似ている。しかし内実はかなり違うように思われる。「新しい住まい」は住居費用を含めて国民が老後を托せる住まいになるかは疑問の多いところであるし、ケアはというと、今でも家族介護を主とし、それをサポートする程度にしか機能していない介護保険制度のもとで、365日24時間のケア体制は望むべくもない。また医療と福祉、諸制度間の谷間はあまりにも大きい。世界に誇る経済力を持ちながら、国民を最後のところで切り捨ててしまうこの国の本当の姿を国民全体がよく認識し、今年こそは国民が最後まで安心して暮らせるように、この国の進路を見定めなければならないと思う。

### 参考文献

「2015年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立にむけて～」2003 高齢者介護研究会  
「特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)現場からの提言」2007 東京都社会福祉協議会高齢者施設福祉部会  
松岡洋子「デンマークの高齢者福祉と地域居住」2005 新評論

# 高齢者福祉の授業

## ～高齢者に学び、現在の自分を見つめなおす授業の展開～

熊本県立東稜高等学校 教諭 菊川雅子

### 1. 学習のねらい

世界に例がないほどのスピードで高齢化が進む日本社会の現状や課題を理解することは、将来、社会を担う高校生にとって重要なことである。

本時では、高齢者や高齢社会についての知識を点検し、実態を正しく理解すると共に、高齢者の多様な生き方について触れ、人生を豊かに生きるとはどのようなことかについて考え、現在の自分を見つめなおす。

### 2. 授業の事前準備

2週間前宿題	ワークシート(資料3参照)を配布し、豊かな高齢期を生きていると感じた高齢者についてレポート
前時の授業	高齢社会の現状を学習後、授業残り10分を利用し、高齢者・高齢期という言葉から連想するものを自由に書かせておく

### 3. 本時授業の展開 学習活動 指導上の留意点

<導入> 高齢者・高齢期に対する自分たちのイメージを確認し、本時の目標を掴む。(資料1)

本時の目標を掴む。

高齢者・高齢期に対する理解を深める

前時に「高齢者や高齢期という言葉からイメージするもの」を生徒たちに自由に書かせ、これを応用紙にまとめる。マイナスイメージが多いことを確認させ、イメージと実際の高齢者の実際が一致するのかが疑問を投げかける。

<展開1> 「人生80年クイズ」を解き、高齢者の実際について理解する。(資料2)

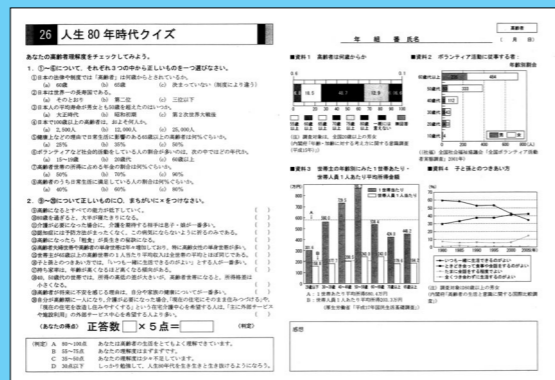
時間10分以内で「人生80年クイズ」を解く。正解点数をだし、自分の理解度を確認する。統計より「高齢者の実際」を読み取る。パワーポイントで図やグラフを作成し、視覚的な解説を行うことで、高齢者・高齢期知識の基礎基本の定着を図りたい。解説の際も、生徒たちのイメージした高齢者・高齢期と常に比較すると理解しやすい。

資料1 「みんなが持つ高齢者・高齢期のイメージ」



高齢者・高齢期に対する生徒たちのイメージをまとめたもの。項目別・プラス・マイナスイメージで分けるとわかりやすい。

資料2：開隆堂出版 家庭科ワークシート集 26「人生80年時代クイズ」



今回の授業では、左側のクイズのみ利用し、右裏側の資料はパワーポイントでグラフを作成し解説を行った。

<展開2> 宿題のレポートを発表し、高齢者の生き方を学ぶ。(資料3)

豊かな高齢期を生きていると感じた高齢者についてレポートした宿題を班で一人ずつ紹介しあう。(1班6名)

互いの紹介例から「豊かな高齢期」のキーワードを班で話し合う。 班の代表者が黒板に板書する。 班内での発表の際は、「レポートした高齢者の生き方のどこを豊かと感じたのか」述べさせたい。 板書されたキーワードの中でも、特に若者の生き方や考え方や共通する項目に注目させ、生徒たちが想像した高齢者のイメージとの違いを認識させたい。

予想されるキーワード (目標・挑戦・情熱・地域との交流・家族・スポーツ)

<発展> 現在の自分の生き方について考える。(資料3)

豊かに生きる高齢者を参考に、現在の自分の生き方について、考えたことを発表する。教科書を読む。 高齢期は独立しているものではなく、青・壮年期に続く人生のまとめの時期であるので、青年期の今をどのように生きていくべきか考えさせたい。

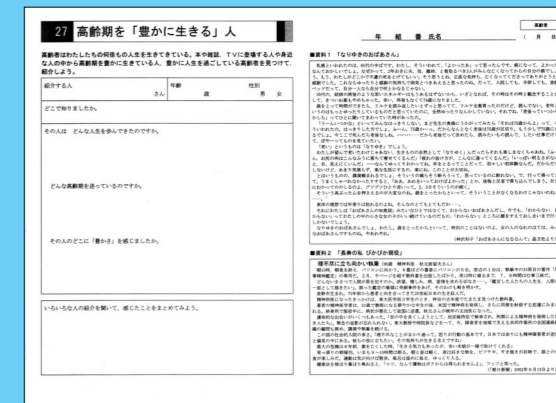
### 4. 生徒の感想

- ・自分がいかに高齢者に対して偏見を持っていたか良くわかった。年をとることはとても嫌だなと思っていたが、80歳や90歳になっても、「目標を持って生きたい」という気持ちがすごいなと思った。私も負けられないと思った。このようないきいきとした高齢者が増えていくといいなと思った。
- ・情熱、挑戦という言葉からは若さをイメージするが、このような姿勢は年齢には関係の無いことだとわかった。そして高齢期とは個人差がとても大きい時期だと感じた。高齢者になっていきなり、何か情熱を持ったり、挑戦する気持ちにはなかなかならないだろうから、若い時をどう生きるかが豊かな高齢期につながるのだなと思った。
- ・人に役立つことをしたい、人が喜ぶのが生きがいといってボランティアを続けられる姿勢は、今の若者にはなかなか出来ないことだと思う。この姿勢を見習いたい。

### 5. 授業を終えて

この授業のポイントは、生徒たちに高齢者や高齢期に対するイメージを自由に書かせることにある。このイメージ(マイナスイメージが多い)と比較しながら、人生80年クイズや豊かに生きる高齢者の記事から実際の高齢者の姿を見ていくと、生徒たちは心の中にあるエイジズムに気づいていく。これが高齢者・高齢期の正しい理解に結びつき、自分の生き方について考えるきっかけになるのではないかと考える。

資料3：開隆堂出版 家庭科ワークシート集 27「高齢期を豊かに生きる人」

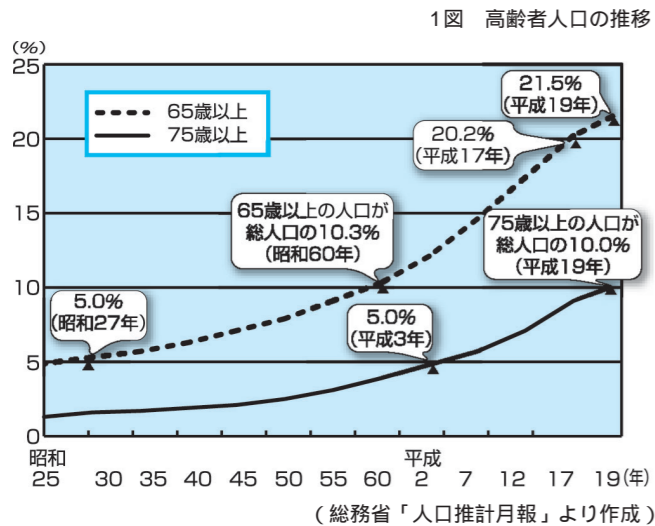


このワークシートは、高齢者福祉を学習する1週間～2週間前に生徒に配布し、提出させておく。今回は冬期休業中の宿題とした。正月は新聞に長寿の高齢者を扱うことが多く生徒も記事を集めやすい。新聞記事は右側に貼らせおくと、班活動の際、互いに紹介しやすく、キーワードも考えやすい。

# データにみる日本の高齢化

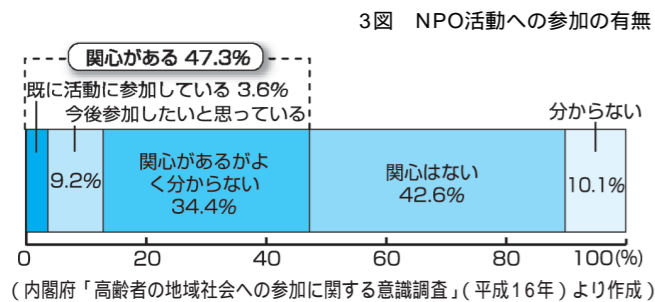
今回の特集テーマ「福祉社会の中の高齢者」に合わせて、高齢者に関する統計資料をピックアップしました。開隆堂出版の教科書『家庭総合 明日の生活を築く』『家庭基礎 明日の生活を築く』には、この他にも多くの資料を掲載しております。是非、授業でご活用ください。

## 1. 日本の高齢者人口の推移



2007年11月、日本の75歳以上の高齢者人口が初めて全人口の10%に、高齢者全体(65歳以上)の割合は21.5%となり(1図)、国際的に1980年代までは下位、90年代では中位であったものが、最も高い水準になった。団塊の世代が65歳に達する2012~2014年には、高齢者人口が毎年約100万人ずつ増加し、2055年には高齢者の割合が40%という、超高齢社会になると見込まれている。(数値は厚生労働省「平成19年版高齢社会白書」)

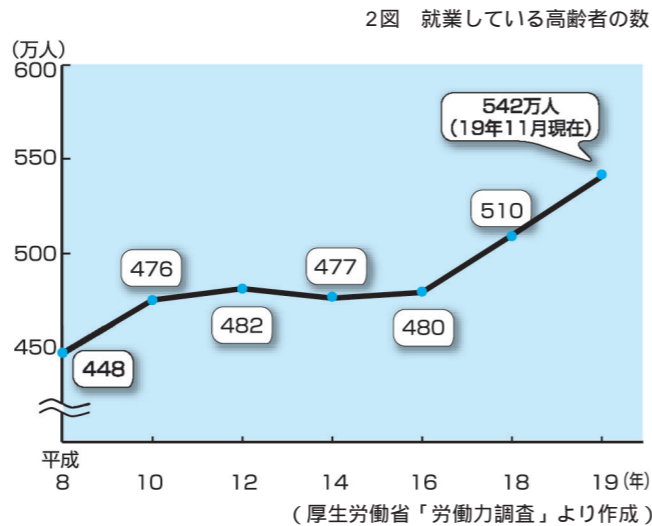
## 3. 高齢者の生活



過去1年間になんらかの趣味・娯楽を行った高齢者は1701万人(割合は68.7%)、中でも「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高い。また、国内観光旅行をした高齢者は1068万人、海外観光旅行は153万人にのぼる。一方、社会参加活動では、近所の人たちとの交流は弱まる傾向にあり、NPO活動に関心はあっても(47.3%)、参加の割合は3.6%にとどまっている(3図)。(数値は総務省「平成18年社会生活基本調査」、内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」(平成16年))

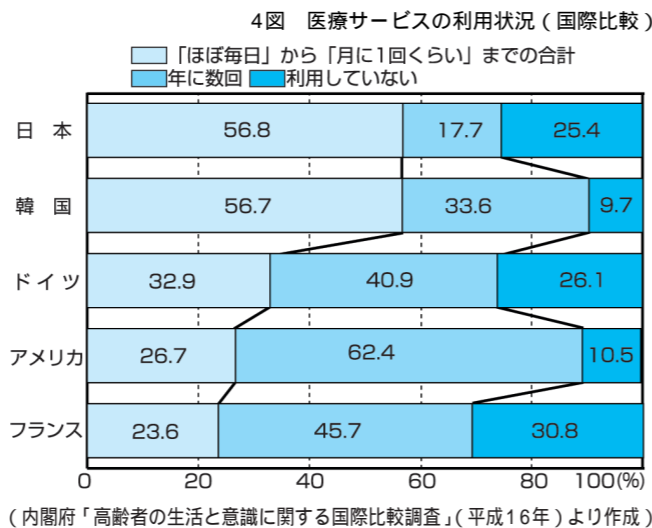
**memo**  
『後期高齢者医療制度』...75歳以上の後期高齢者と65歳以上の一定の障害を持つ人を対象とした新医療制度。旧・老人保健制度の健康保険証の代わりに、新たな保険証が交付され、扶養家族となっている人も、保険料の納入が義務付けられ、後期高齢者等は介護保険料と新保険料の二つが徴収されることになった。

## 2. 労働者として的高齢者



就業している高齢者の数は、2006年に510万人となり、初めて500万人を上回った(2図)。65~69歳の不就業者のうち、男性で4割以上が、女性では2割以上が就業を希望している。2030年には、少子化の影響で2006年より労働力人口が1070万人も減るといふ推計もある。労働力としての役割も今後更に大きくなっていくだろう。(数値は厚生労働省「高齢者就業実態調査」(平成16年)、雇用政策研究会推計(平成19年))

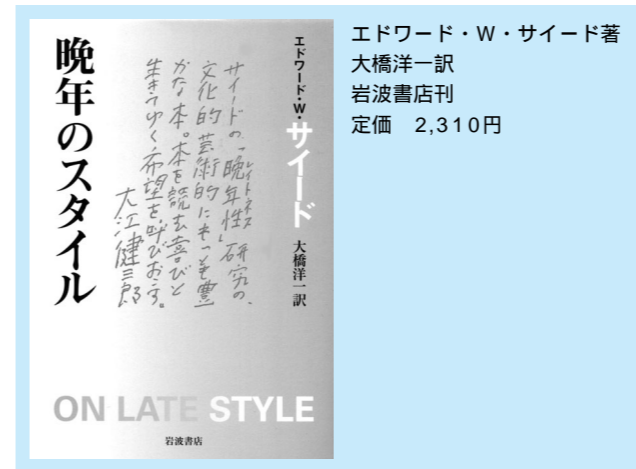
## 4. 高齢者と医療



日本の高齢者の医療サービスの利用状況は、他の国と比較しても高い(4図)。介護保険制度で要介護者または要支援者と認定された高齢者は、高齢者人口の16.6%を占めている。後期高齢者になるとその割合は29.6%に。2008年4月から始まる後期高齢者医療制度(memo)により、後期高齢者の医療負担は増大する見込みである。(数値は厚生労働省「介護保険事業状況報告(2005年度)」)

# メディア紹介

## BOOK 『晩年のスタイル』



高校家庭科の教科書では、高齢期は「人生を完成させ、今までの人生で蓄積した経験を生かすことのできる時期でもある」(開隆堂出版刊『家庭総合 明日の生活を築く』)という記述がされています。マイナスのイメージでとらえられがちな高齢期ですが、人生の4分の1を占めるその時期を、自分らしく円熟させていく可能性に満ちた時代であると考えることが、確かに私たちの課題になっているでしょう。しかし、何事も多様性があられる現代に、それ以外のオプションが存在することも必要なかもしれません。哲学者のエドワード・サイドは、芸

術家の晩年の作品を分析し、「人生を完成させない」高齢期というスタイルを示しました。この本は、著者自身の最晩年の研究の遺稿集となっています。

もともと「晩年性」という言葉は、サイドより一世上の哲学者テオドール・アドルノのベートーヴェン研究で使われたものでした。「晩年性(lateness)」には「時宜をえない」という意味もあるのですが、晩年を迎えたベートーヴェンが、自ら築き上げた世界の破壊もおそれずに、妥協を拒みながら、現代音楽にも通ずる新たな境地を目指したことを、サイドは積極的に評価しています。ベートーヴェンは調性から脱した作品を作ろうと、それまでの傾向から離れていきましたが、結局、無調性の音楽を完成させたのは、20世紀に入ってからのシェーンベルクなどの作曲家でした。時宜をえないとその当時は思われていた行動が、後世に実を結ぶことがあり、狷介固陋の精神は必ずしも否定されるものではないという一つの例でしょう。

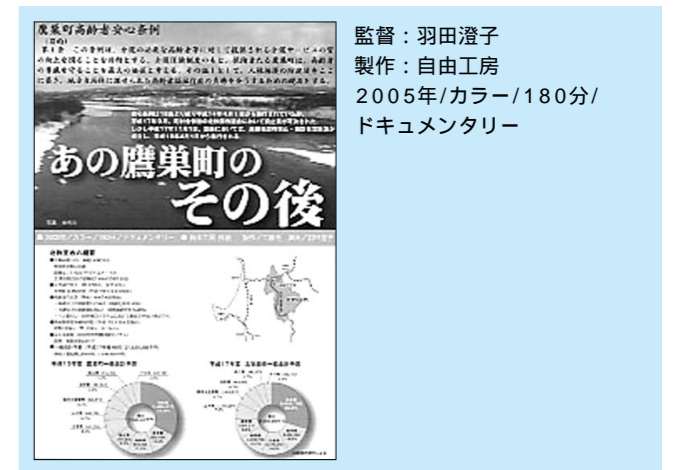
文学、音楽、映画、思想など幅広く同じような表現の例を探し求め、そして共感を表している著者自身もまた、パレスチナ問題に取り組んできたこれまでのキャリアから逸脱して、感受性の高い芸術批評を最晩年に行いました。そしてその著作が未完のうちに亡くなったということは、本書の内容とあまりに符号しています。ただし、逆境に立たされているものに光を当てようとする姿勢は終生変わるものではなく、時代にそぐわないと感じている、高齢者のみならず、全ての人にとって、サイドの示した「晩年のスタイル」という思考は希望が持てるものになるのではないのでしょうか。

## MOVIE 『あの鷹巣町のその後』

秋田県の内陸地方にある、雪深い小さなまち。それが鷹巣町(現北秋田市)です。この町は、デンマークの福祉システムになり、高齢者福祉の充実に取り組んできました。90年代から進められたその改革は、介護保険制度が確立する前にもかかわらず、全室個室のユニット型老人施設「ケアタウンたかのす」や町ぐるみの24時間訪問介護などの先進的な取り組みを実現させていきました。とりわけ「ケアタウンたかのす」は入居者とほぼ同数の介護職員をそろえ、現在の厚生労働省の配置基準(入居者:介護職員=3:1)を大きく上回る、1.4:1という手厚い態勢を維持していました。

ところが2003年の町長選挙で、3期12年にわたり高齢者福祉の町づくりを進めてきた現職の町長が落選をしてしまいます。町村合併を推進する新しい町長は、「福祉のやりすぎだ」といい、町の福祉政策は大きく変化しました。本作はその後の鷹巣町を追いかけたドキュメンタリー映画です。

「官から民へ」という方針のもと、多くの福祉事業が廃止されてゆきます。「ケアタウンたかのす」も独立採算を求められ、補助金の額は激減します。高いレベルの高齢者福祉を支えてきた仕組みは危機的状況に陥り、福祉に携わる関係者は厳しい戦いを強いられることになりました。高齢化率は高まるばかりなのに、それを受け入れる態勢の整備は行わないという、本号の



「家庭科再発見」で安岡芙美子氏が述べているとおり、日本の高齢者と住まい・福祉の問題が、露呈されているようです。

選挙からんだ政治ドラマとしても興味深い内容ですが、それだけに、政治と福祉の齟齬について大いに考えさせられる映画です。

お詫びと訂正  
ACCESS 34号「家庭科再発見」で参考文献に記載の誤りがございました(アンダーライン部分)ので、以下のように訂正しお詫び申し上げます。  
[ACCESS 34 p.3] x3 Laster J. (2000) Assessment of Practical Reasoning, Home economics teacher education: Year book 20  
3) Laster J. (1998) Assessment of Practical Reasoning, Home economics teacher education: Year book 18

# 開隆堂の高校家庭科用各種教材

## 3月発行予定 安全・安心な共生社会をめざした 新 図解 実験・観察・学習指導集

日下部信幸 石井克枝 工藤夫美子 編著 / 7名 共著  
B5判 100頁(内カラー口絵4頁) 定価 2,940円(本体 2,800円)

- ・「安全・安心」をテーマに、人と生活を中心にした保育・福祉・介護や環境に配慮した衣・食・住の実験・観察・実習事例を取り上げました。
- ・身近な生活の中に当然のように存在する事象の「なぜ」が科学的に証明できる簡単な事例で、生徒の興味・関心を喚起します。
- ・バリアフリーを考える まちを歩き、観察し、写してみよう / 乳幼児の安全を考える 乳幼児の生きている世界を実感しよう / 高齢者の食を考える 寝たきりではどんなものが食べやすい? / 軟水・硬水の違いを調べよう 硬水はおいしい? 硬水の泡立ちは何? / プラスチック類を分別しよう 理由を知ってエコ実践 / 身近な危険物を知ろう 乾燥剤、漂白剤、ぬめり除去剤 / ウォームビス、クールビスを生かして、二酸化炭素の削減に役立てよう / 包丁を安全に、上手に使いこなそう / 食品の新鮮さを調べよう / 羊毛の草木染めでホームスパンのしおりやプレスレットをつくる / しみをとってみよう / 豆乳を使って安全で不思議で楽しい染色 / 草木染めの応用 大錦鶏菊や黄花コスモスで染めた不思議な布 / 夏の水まき効果はどれくらい? 気化熱で涼しさを体感 / カーテンの遮蔽効果を調べよう など40の実習例を掲載しています。

**既刊も好評発売中**

**図解 家庭科の実験・観察・実習指導集**  
日下部信幸・野田知子ほか4名 共著  
B5判 100頁(内カラー口絵4頁)  
定価 2,800円(本体 2,667円)

**続 図解 家庭科の実験・観察・実習指導集**  
日下部信幸・下村道子ほか 共著  
B5判 100頁(内カラー口絵4頁)  
定価 2,900円(本体 2,762円)

## 好評発売中 家庭科ワークシート集

B4判 80シート  
CD-ROM1枚 Windows版  
ワード・一太郎対応  
定価 6,300円(本体6,000円)

- ・学習場面に応じて必要なシートを複写し、生徒個々に配布して活用できる。
- ・生徒の自主的・創造的な学習を促すことができる。
- ・各シートは、学習活動の内容によって、「課題」「調査/記録」「実験/観察」「計画」「技術のポイント」「発表/まとめ」「評価」「参考」などに活用できる。
- ・CD-ROMには、ワークシートの内容をデータで収録しているので、アレンジもできる。ワークシートの内容に加えて、調理の基本やミシンの操作などもアニメーションや拡大図で収録している。



## 好評発売中 ビジュアル栄養計算



Windows XP/2000/NT4.0/98 対応パソコンソフト  
定価 12,600円(本体12,000円)  
指導の手引き(B5判/80頁)付き  
生徒用追加CD-ROM  
定価 8,400円(本体8,000円)

『ビジュアル栄養計算』が五訂増補版食品成分表となつてグレードアップ。ウィザードに従って操作するだけで、約1,000種類の料理データから、知りたい内容が簡単に計算でき、棒グラフやレーダーチャートで表示・判定ができます。

## 好評発売中 家庭科再発見



堀内かおる編著  
望月一枝・西岡正江・濱崎タマエ著  
A5判 152ページ  
定価 1,890円(本体1,800円)

本書では小・中・高・大学におけるスケールの大きい家庭科の授業づくりと実践の詳細が示されており、家庭科教育の意義を再発見するとともに、学習指導要領の趣旨を踏まえつつ、各学校・学級の状況に応じた家庭科の授業づくりのヒントを得ることができます。

## 好評発売中 家庭基礎 家庭総合 学習ノート

体様：B5判 別冊解答書付

**家庭基礎学習ノート** 家庭総合学習ノート

明日の生活を築く 明日の生活を築く  
本文 96ページ 本文 112ページ  
定価 500円(税込) 定価 550円(税込)

## 家庭科 ACCESS 資料集 食品成分表付き

口絵+見返し 定価  
14ページ 720円(税込)  
本文  
168ページ  
(内 食品成分表32ページ)

## 食品成分表(五訂増補)

B5判 定価  
272ページ 730円(税込)

## ACCESS

Vol.11-1(通巻35号) 平成20年1月30日印刷 平成20年2月5日発行 編集兼発行人 山岸忠雄  
印刷所/興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8  
定価120円(本体114円) 発行所/開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1  
送料80円 03(5684)6121[営業] 03(5684)6118[販売] 03(5684)6116[編集]